

こんな症状ありませんか？



(絵)
一般
ペンネーム
包括 太郎さん

詳しい解説は
裏面へ!!



「認知症を理解し一緒に歩む県民週間」
IN 阿久根

何度も同じことを話す



そんな時は

「さっきも言ったでしょう」などと返事をする、本人は「初めて話したのに怒られた」と怒りや悲しみ、不安を感じて、信頼関係を築けなくなってしまう。

このような場合は、本人の好きなこと、興味のあることに話題を変えたり、すぐに忘れることを逆手にとり、毎回「そうだね」と笑顔で返事をするように心掛けましょう。

また、何度も同じことを聞いてくる場合には、気になっている内容を紙に書いて、本人の見えるところに貼っておいたり、日付を気にする場合には、カレンダーの日付に×印をつけるという方法もあります。



なぜ？

認知症初期には、間近の記憶から失われていき、次第に思い出せないことが増えていきます。それが不安につながり、何回も確認するという行動として表れます。

◎記憶障害は、本人の自覚がありません。答える方は、何度も聞かれるとうんざりしてしましますが、確認したい内容は、本人にとって大事なことである場合が多いので、その思いを理解して接するようにしましょう。



認知症について

年をとれば誰にでも起こる可能性がある脳の病気です。しかし、認知症についての誤解や知識不足から、本人も周囲もつらい思いをしていることが少なくありません。

認知症の原因、症状、本人の気持ち、対応などの情報については

令和7年9月20日(土)
認知症サポーター養成講座を受講ください。

認知症や介護、生活のことでの相談は下記連絡先へ

阿久根市地域包括支援センター
(市役所14番窓口)
☎73-1272